

国語 一一一	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①		
名前 なまえ		年 ねん	組 ぐみ
		番 ばん	

つぎの文の（ぶん）にあてはまること
ばを、あとの（ ）からえらび、かきまし
よう。

① 雨が（あめ）とふりはじめた。

② 日（にち）よう日は、とても（び）とすご
すことができた。

③ はさみの先（さき）は、（ ）いるので、人（ひと）
にむけるとあぶない。

④ （ ）の道（みち）をあるく。

でこぼこ とがって のんびり
しとしと

ぶん

つぎの文の（

）にあてはまることば

を、あとの

からえらび、かきましよう。

① はなちゃんは、とても（ ）ので、

なかなかった。

② かれは、だれにでも（ ）。

③ 野きゅうのれんしゅうにいつも（ ）

とり組んでいる。

④ かれは、（ ）だけに、よくあそぶ。

がまん強い

まじめに

やさしい

元気な

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの からえらび、書きましよう。

① お母さんがむかえに来てくれたので、
（ ）した。

② 大きく元気なあいさつに（ ）した。

③ おおぜいの人の前で話すのは、とても
（ ）する。

④ 明日は、遠足なので（ ）だ。

きんちょう 楽しみ かんしん
あんしん

名前
なまえ

年
ねん

組
ぐみ

番
ばん

取り組んだ日
とくぐんだひ

月

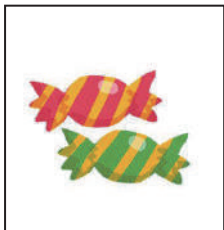
日

つぎのことばでつよくいうぶぶんを線で囲みましよう。

①



あめ



あめ

②

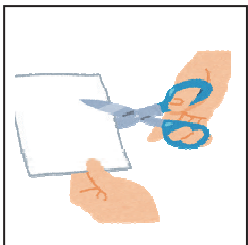


はし



はし

③

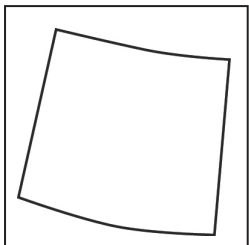


きる

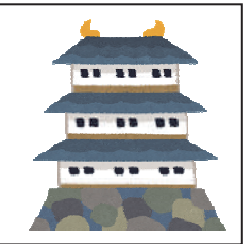


きる

④



しろ



しろ

ぶん

つぎの文の

とはんたいのいみのことば

はい

が（ ）に入ります。あてはまることばを、

あとの

からえらび、（ ）にかき

ましょう。

① このノートは、たてよりも（ ）のほう

なが

が長い。

おお

② つくえは大きい^{おお}が、いすは（ ）。

そと

③ このようふくの外^{そと}がわは、じみだが、（ ）

がわは、はです。

きょうしつ

うえ

おんがくしつ

ずこうしつ

④ この教室^{きょうしつ}の上^{うえ}は音楽室^{おんがくしつ}で、（ ）は図工室^{ずこうしつ}だ。

した

下
よこ

うち

内

ちい

小さい

国語 六―一	第一学年及び第二学年 なかまの言葉		
名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん

とく 取り組んだ日	月	日
--------------	---	---

ことば はい ことば

つぎの言葉のグループに入る言葉を、あとの

からえらび、その言葉を線でかこみ

ましょう。

くだもの

りんご	じやがいも	ガム
ねこ	キャベツ	からす
パイナップル	なす	バナナ
チョコレート	メロン	ねぎ
みかん	キャラメル	あひる

名前

年

組

番

とり組んだ日

月

日

つぎの絵に^えあう言葉になるように、^{ことば}しかくの中^{なか}にひらがなをかきましょう。

①



お

さん

②



お

さん

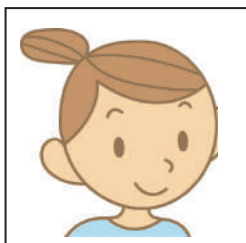
③



お

さん

④



お

さん

名前

年

組

番

とく
組んだ日

月

日

え

ことば

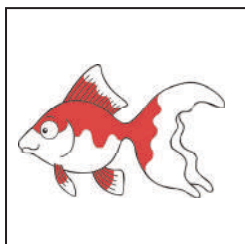
しかく
なか

つぎの絵にあう言葉になるように、四角の中に

か

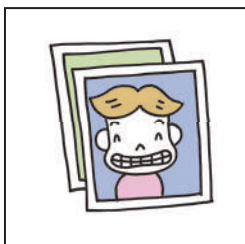
ひらがなを書きましょう。

①



きんぎ

②



し

しん

③



き

うき

うし

④



び

う

い

ん

名前

年

組

番

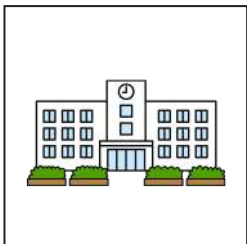
とり組んだ日

月

日

え ことば
つぎの絵にあう言葉になるように、しかくの中
にひらがなをかきましょう。

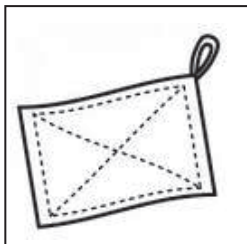
①



が

こう

②



ぞうき

③



は

ば

④



え

ぴつ

つぎの文の に、「わ」と「は」のどちらかをかきましょう。

①

たあめをたべる。

②

よしのさん

、足がはや

い。

③

にが、かわに入つた。

④

そら

、青い。

国語 十一―一	第一学年及び第二学年の内容 まる（。）					
				名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ
						番 ばん

とく 取り組んだ日	月	日
--------------	---	---

ぶんしょう

つぎの文章は、まる（。）をうっていません。

ただ
ばしよ

正しい場所にまる（。）をうちましよう。

にのみやそんとく
ひと し

二宮尊徳という人を知っていますか

にのみやそんとく
ひと むら

二宮尊徳は、たくさんの人や村をたす

ひと
な にのみやきんじろう

けた人ですまたの名を二宮金次郎とも

きんじろう
がつこう

いいました金次郎のぞうが、学校にある

ひと

という人もいるでしょう

国語 十二—一	第一学年及び第二学年の内容 てん（）			名前 年 組 番		
取り組んだ日 月 日						

ぶんしょう

つぎの文章は、てん（）をうっていません。

ただ
ばしよ

正しい場所にてん（）をうちましよう。

そうげん
けんじ
よぞら
ほし

草原にねころんだ賢治は夜空の星をな

がめました。

ざ
ざはくちようざ

こと座わし座白鳥座。

たの
せいざ
けんじ
こころ
ひろ

楽しい星座のせかいが賢治の心に広

がりました。

国語 十三—一	第一学年及び第二学年の内容 かぎ（一）　　二	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

とく 組んだ日	月	日
------------	---	---

ぶんしょう
つぎの文章は、かぎ（「」）をつかってい
ただ　　ばしよ
ません。正しい場所にかぎ（「」）をかきまし
よう。

はなし　　てづかおさむ　　ちい
このお話は、手塚治の小さいころので
きごとです。

かあ　　あたま
お母さん、頭がいたいよ。
だいじょうぶ、きつとよくなるからね。

かあ　　おさむ
お母さんは治のまくらもとで、やさし
こえ
く声をかけました。

国語 十四―一	第一学年及び第二学年の内容 主語と述語		
名前			
年			
組			
番			
取り組んだ日			
月			
日			

つぎの文を**ぶん**よ**じゆつご**せん
読み、述語に線をひきましょう。

①すすむくんが、かけていきました。

②はなごさんは、**やま**うえ
山の上にすんでいます。

③あたらしいようふくが、とどきました。

④小鳥は、**ことり**
はばたきました。

⑤**ごねんせい**
五年生のあねが、**はや**
とても早くおきた。

国語 十五―一	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」	名前 年 組 番			とく 組んだ日 月 日
------------	---------------------------	-------------------	--	--	----------------------

つぎの文ぶんししょうを「です」「ます」「でした」「ま
した」でおわる文ぶんししょうにかきなおしましょう。
かきなおしたいところに〓〓をひき、そのよこ
にかきなおしたことばをかきましよう。

つりました。

【れい】さかな魚をわった。

あるところに、おじいさんとおばあさんがいた。

ふたりはたいそうこまっていた。それというのも

まん月のばんに、いつもおにたちがわるさをしに

くるからだ。